

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成12年度(実質平成11年10月)		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	05 介護保険
事務事業名	03	介護保険計画策定趣旨普及事業	
このシート作成に要した時間			3.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	要介護認定・要支援認定者及び介護者
目的(何のために)	介護保険事業計画を策定し、各年度の介護保険サービスの見込み等をたてるとともに、介護保険制度について市民への周知を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	3年ごとに介護保険事業計画を策定する。(平成23年度策定) 介護保険制度について広報、パンフレット等により制度の周知を図る。 第4期介護保険事業計画(平成21年~23年度)の進捗状況及び成果の検証を行う。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	趣旨普及事務	制度普及の説明会や広報・HP・パンフレット等で市民に情報提供をする。	
	計画策定委員会事務	第4期介護保険事業計画の進捗状況及びその効果を検証し、次期計画につなげる。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		1,348	2,436	141	
	必要人員(人件費)	千円	0.35人	2,791	0.23人	2,084
	事業費		4,139	4,520	1,122	
	国県支出金			2,296	74	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源		4,139	2,224	1,048		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	制度普及の説明会	説明	制度普及の説明会			
	結果指標量	事業	22	22	22	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	2,791,000	2,084,000	981,000	
単位当たりコスト	円	126,864	94,727	44,591		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
制度普及の説明会	目標値(A)	10	10	22	22
	実績値(B)	22	22	22	到達目標値
	達成率(B/A)	220.00%	220.00%	100.00%	22

成果指標設定の考え方・式や説明  
民生委員会(8箇所×年2回)・ケアマネージャーの集い(奇数月)等で制度普及のための説明会を実施した回数

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
効率性の評価	コスト		効率性評価 <A~E>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	B
	市民参画度		有効性評価 <A~E>

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	第4期介護保険事業計画の3年目のため、計画の進捗状況の総括を行う。また、第5期計画策定の年なので、第4期の反省点を踏まえ、より良い計画になるように努める。趣旨普及については、今年度も引き続きHP等で分かりやすく、見やすい内容の情報提供ができるよう取組む。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
制度普及のため、広報や詳細な内容のパンフレットを作成し、PRを行った。	評価区分 <A~E>	B
	実効性	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	制度普及のため、広報・HP等でPRを行なう。					